

テーマ：友だちとなかよく

教材名「間違えたときは」

授業のねらい

4年生から6年生がともに生活を送るつくし学級2組、3組の中で、互いを知り、友達と仲よくするために大切なことは何かを考え、安心できる友達関係を築こうとする心情を育てることをねらいとしました。

① はじめに…テーマソング→**こまったニュース**(教師による寸劇のビデオの視聴)

教師「友達が授業で間違ったときに、どんな困ったことがありましたか。」

児童・間違えたところを教えてあげた。 ・読んだ人の機嫌が悪くなってしまった。

「みんななかよく」のクラスの頑張りたいことと照らし合わせて、自分たちの生活の場面とつながる「こまったニュース」を見ることができるようになります。

② 教材を通して…**みんなでそうだん**(話し合い)

教師「ゆうだいくんは、何を困っているのでしょうか。けいたくんは、どうしたかったのでしょうか。どうすると、仲良く勉強できるのでしょうか。」

児童・けいたくんは、いじわるをしたわけじゃない。
・「どんまい。」「おしかったね。」と言えば、仲良くなれるよ。
登場人物のそれぞれの気持ちになって発表し合います。



③ 自分自身について…**レッツゴータイム**(活動)

教師「では、話し合ったことを思い出しながらやってみましょう。」

児童・「どんまい。」と言ったら「ありがとう。」と言ってくれた。
・「おしかったね。」と言えた。「気持ちの切り替えができた。」
話し合った「魔法の合言葉」を使えたことや楽しくできたことを発表し合います。



④ おわりに…**きょうのふりかえり**

教師「今日の花丸の王冠は、みんながたくさん考えることができたことと、魔法の合言葉を使えたことです。今日の時間は、どんな気持ちになりましたか。」

一人ずつ3枚の表情カードから、今の気持ちを選んで互いの気持ちを示し、友達と仲よくしようという気持ちが高められたことを確認できるようにします。